

株主通信 ASAHI RUBBER REPORT 2019

ごあいさつ

好奇心を高めて、 深化、進化、新化していきます。

2019年3月期は、事業製品の強化と拡大、システム変更などの基盤強化を果敢に取り組み、過去最高の売上高を更新しました。利益面は減益となりましたが、これからの成長に向けた積極的な先行投資によるものです。取り巻く環境変化は強く大きいものですが、成長分野における次の一手を着実に実現する行動をもって、収益力の改善努力を続けていきます。

2020年3月期の経営方針は、「好奇心を高めて、深化、進化、新化しよう」としました。「深化」は、さらにコア技術や経営基盤に基礎力をつけるという行動です。競争力の源泉を真摯に磨き鍛えて、深く社会に貢献ができるよう取り組んでいきます。

「進化」は、深化して高まった源泉を、広い視野で貢献できる優れた価値を高めていく行動です。例えば光の質を高めて自動車エクステリア市場への参入を開始します。自動車産業は「CASE」を代表とする100年に一度の大変革期にあります。その好機に新たな価値を提案して魅力ある事業へと成長させます。

三つ目の「新化」は、その広める進化をさらに新しいところに向けて挑戦する行動です。例えば当社独自開発の医療回路部品を市場投入するなど、主要事業製品並びに朝日FR研究所の研究案件を担当する開発部を立上げ、「弾性無限」から生み出された製品を、今までにない

広く新たな市場へ投入していきます。

2020年3月期は第12次三カ年中期経営計画「V-2計画」の最終年度であると同時に、長期ビジョンである「AR-2020VISION」のゴールの年でもあります。さらに将来の朝日ラバーが成長し続けられるように、「質的成長」のための人材投資、技術投資を行い、未来につながる活動を全社で取り組んでいきます。

スローガンは昨年に引き続き“WE ARE”です。全社全員参加で進めていきますので、今後とも、朝日ラバーグループの成長にご期待いただき、より一層のご支援を賜わりますようお願いいたします。

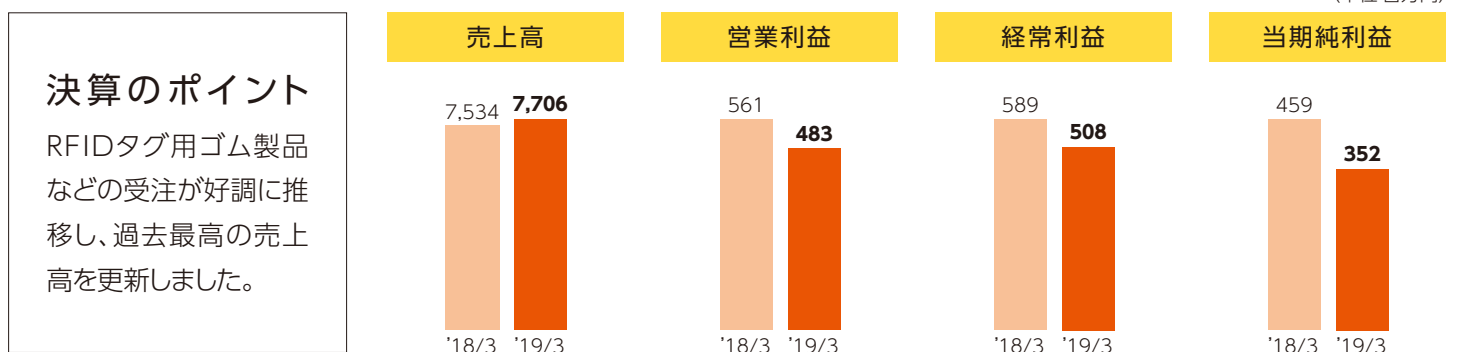
代表取締役社長

渡邊 陽一郎



第49期 連結財務ハイライト

(単位:百万円)



ASA COLOR LEDの受注が第4四半期に減少したものの、他の自動車向けゴム製品やRFIDタグ用ゴム製品、卓球ラケット用ラバー、医療用ゴム製品の受注が好調で増収となりました。利益面では、ものづくり体制の強化のための先行投資や中途採用を実施したことなどによる費用増のため減益となりました。

働きがよい委員会

「イキイキした職場・イキイキした人材を育て、
ワクワクした会社をつくること」を目標に
2018年4月から活動をスタートしました。



目的①

コミュニケーション
スキルを磨き、
高ストレス者の
割合(EAP評価)を下げる

目的②

「働きがい」を
評価する指標、
仕組みを完成させる

従業員アンケートを実施

初年度は、こころの健康維持活動(メンタルヘルス、ストレスチェック)の取り組みと働きがいを評価する指標と評価方法を作成するため、信用、尊敬、公正、誇り、連帯感をキーワードに従業員アンケートを実施しました。

やりがいにつながると感じる回答をした主な項目

- 自分のやるべき仕事明確に説明されている
- 責任ある仕事を任されている
- 上司との会話は一方的ではなく、意見や疑問、課題等を聴いてくれ、また、回答もある
- 上司は、近づきやすく気軽に話せる
- 専門性を高めるための研修や能力開発の機会が与えられている
- 会社の労働環境は、安全で衛生的である
- 自分が仕事で苦しんでいるときに仲間がフォローしてくれる

今回のアンケート結果から、全体における約7割の方が「働きがい」を感じていることがわかりました。今期は、その結果を踏まえて従業員同士が交流できる機会を多く作り、ワクワクして働ける「働きがい」のある会社を目指します。

comment

01 感謝の気持ちを忘れない

高見 裕子 生産本部第二福島工場品質管理グループ長



会社との信頼関係、上司との信頼関係があって、自分の仕事を見てもらえる、やったことを認めてもらえる、自分の頑張りを評価してもらえるということがやりがいにつながると思います。お互いに感謝する気持ちを持って、お互いにありがとうと言いあえる職場であれば、自分の前後の工程の人や関わる人たちが少しでも気分よく仕事してもらえるように、みんながみんな少しずつ気を使っていくとみんなが気分よく働けるようになり、気分よく働ければ仕事も楽しくなると思います。そしてやったことに対して認めてもらえる、評価してもらえるといったことがうまく回ってくると働きがいを感じられると思います。

理解してもらえることで頑張れる

本柳 翔之 生産本部白河工場技術3グループ主任

comment

02



管理職は忙しくて仕事の幅も広いので、自分の仕事を全部知ってもらうことはできないと思いますが、状況を理解してもらっているということだけで、気持ちの面で大きく救われる部分がありますね。いろいろあって大変な状況に直接サポートしてもらえなくても、理解してもらえるというのは働きやすさや頑張れる部分になると思います。この委員会をきっかけに、グループでちょっと集まって話しをしようという機会を設けて、コミュニケーションの輪をつくらうとしています。技術の仕事は一人ひとりが違うテーマを持って、孤軍奮闘な状態にようになるので、発想を転換したりリフレッシュするために雑談は大事です。

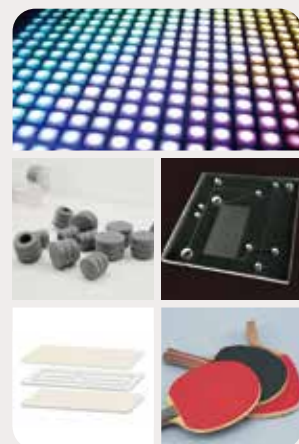
comment

03 家族からも褒められる職場に

大越 美鶴 生産本部第二福島工場製造グループ班長



高校生の息子から、先生が朝日ラバーはすごくいい会社だ、母さんはいい会社にいるね、朝日ラバーに勤められるなんて幸せだ、と言ってもらったときには本当にうれしく、やりがいがあるなあと思いましたね。仕事でストレスはみんなが持っていると思いますが、それぞれがうまく発散していると思います。女性は結果ではなく共感を求めるところがあるので、話を聴いてくれる誰かを見つけて、お互いに言い合って、それでまた頑張ろうという職場になっていると思いますよ。



分野別 市場の動向

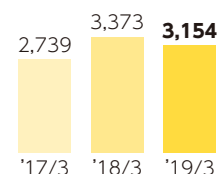
RFIDタグ用ゴム製品の受注が大きく伸びたことや自動車向けのスイッチ用ゴム製品や卓球ラケット用ラバーの受注が好調に推移し、売上増に貢献しました。自動車内装照明用のASA COLOR LEDは、上期の受注は好調でしたが、第4四半期から調整が入った結果、売上高は微減となりました。

車載・照明分野

- 主な製品
- ▶ ASA COLOR LED
 - ▶ 透明部材
 - ▶ 反射材料

前年同期比93.5%。自動車内装照明用のASA COLOR LEDは前年同期比93.4%となりました。照明製品では、透明部材のレンズ製品や蛍光体応用製品、反射材料の白色シリコーンインクがそれぞれ減少となりました。

連結売上目標 (単位:百万円)



今後について

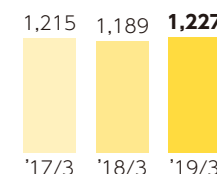
従来のターゲットである自動車のインテリアからエクステリア向けの製品開発と市場供給を進めます。

医療・ライフサイエンス分野

- 主な製品
- ▶ プレフィルドシリンジ用ガスケット
 - ▶ 採血用・薬液混注用ゴム栓
 - ▶ マイクロ流体デバイス

前年同期比103.2%。ディスプレイ用ゴム製品であるプレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケットや採血用・薬液混注用ゴム栓などの受注が安定して推移いたしました。

連結売上目標 (単位:百万円)



今後について

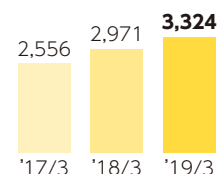
医療回路製品の自社開発製品の市場投入をスタートします。

その他分野

- 主な製品
- ▶ RFIDタグ用ゴム製品
 - ▶ 卓球ラケット用ラバー
 - ▶ 自動車向けスイッチ用ゴム製品

前年同期比111.9%。認証・認識ビジネスに対応するRFIDタグ用ゴム製品は、主に北米市場での受注が好調で前年同期比158%となっています。卓球ラケット用ラバーは前年同期比94.5%の減収となりました。

連結売上目標 (単位:百万円)



今後について

自動車向けのスイッチ用ゴム製品の拡販とRFIDタグ用ゴム製品の次世代品の開発を進めます。

自家消費型太陽光発電設備の稼働について

2017年12月、白河工場に電力自家消費用の太陽光発電設備を実験的に設置し、運用を進めていましたが、2019年3月29日に第二福島工場、4月10日に白河工場に、それぞれの屋根上に増設し、発電を開始しました。

第二福島工場はモジュール容量129.5kW、白河工場は466.2kW、(既設と合わせ485.7kW)となります。2018年度の年間電力使用量に対し、第二福島工場は約6%、白河工場は約17%に相当する発電量を見込んでいます。両工場の総発電量は、森林32,000本に相当するCO₂削減となります。新規設備の動力源とする他、工場内の働きやすい環境づくりのための空調や照明電力として活用してまいります。



株式の状況／会社概要 (2019年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	11,500,000株
発行済株式の総数	4,618,520株
株主数	2,794名

大株主

株主名	(株) 持株数	(%) ^{*1} 持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	253,600	5.6
佐藤尚美	228,700	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.9
株式会社東邦銀行	207,400	4.5

*1 持株比率は自己株式(53,076株)を控除して計算しております。

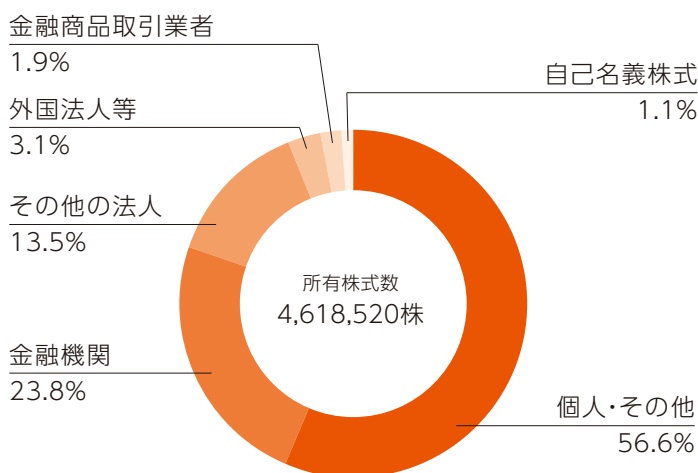
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式の分布状況



会社概要

商号	株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.) https://www.asahi-rubber.co.jp/	
所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2	
設立	1976年6月(創業1970年5月)	
資本金	5億1,687万円	
証券コード	5162	
正社員数	306名	
主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売	
主な事業所	本社：埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2 大阪営業所／名古屋営業所／福島工場／ 第二福島工場／白河工場／白河第二工場	
役員 ^{*2}	取締役会長	横山 林吉
	代表取締役社長	渡邊 陽一郎
	取締役	田崎 益次
	取締役	滝田 充
	取締役	高木 和久
	取締役(監査等委員)	亀本 順志
	取締役(監査等委員)(社外)	馬場 正治
	取締役(監査等委員)(社外)	筑紫 勝磨

*2 2019年6月25日現在